

## 第4章 計画の推進

## 第1節 計画の推進体制

### 1 社会福祉協議会との連携強化

社会福祉協議会は、社会福祉法において、地域福祉の推進を担う中心的な存在として位置づけられています。地域福祉向上を目的とする事業の企画や実施、各種福祉団体の活動支援を通じて、地域に密着したさまざまな事業を実施しているほか、地域での活動を支援し、地域の実情に応じた事業の効果的な推進を担っています。本計画のめざす地域の姿・基本目標を共有し、実現に向けて取り組んでいくうえでも、社会福祉協議会との連携を強化していくことが重要です。

### 2 庁内推進体制

本計画における地域福祉施策は、福祉部門をはじめ、子育て支援、生涯学習部門等、幅広い分野にわたり総合的かつ効果的に推進する必要があることから、庁内関係部署との連携をより一層強化した体制の整備を図ります。

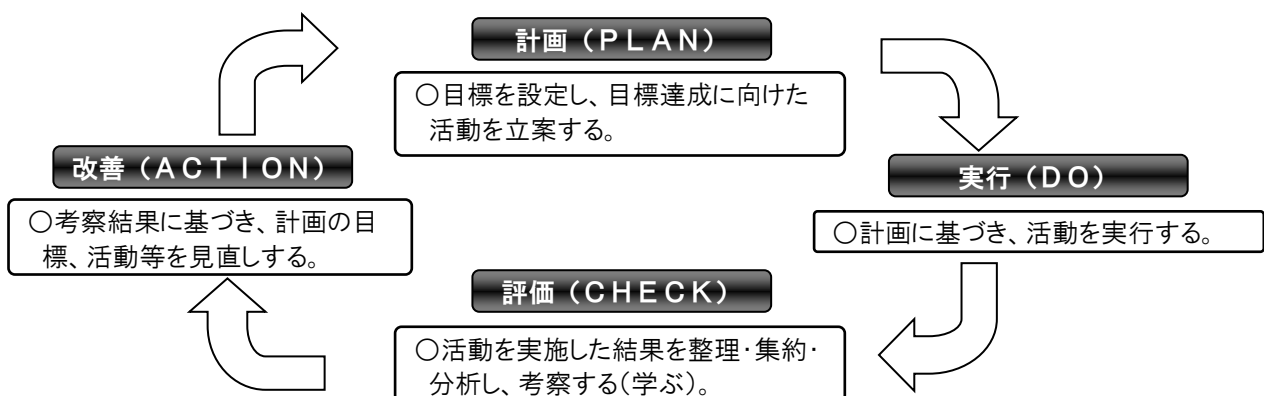
### 3 町民の参加による推進体制の整備

本計画では、高齢者、障がいのある人、子ども・家庭、生活困窮者などの区分にかかわらず、地域の困っている人を発見し、可能な場合は地域で支えあい、町をはじめとする関係機関への相談、適切なサービスにつなげる体制の整備を推進します。そのため、町民がサービス利用者としてだけでなく、福祉サービスの担い手として主体的に活動できる環境の整備をめざすとともに、地域で各種支えあい事業を行っている団体等の育成を図るため、研修や交流事業を実施していきます。

### 4 計画の進行管理

本計画の推進にあたっては、計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）に基づく進行管理（<sup>\*</sup>PDCAサイクル）を、より一層強化し、常に改善を図ります。また、定期的に事業の達成状況や評価について取りまとめを行い、重点プロジェクトの進捗会議を年1回行うこととします。

#### ■参考 PDCAサイクルのプロセスイメージ



## 5 進捗について

本計画の進捗管理を次のとおり実施します。

○平成 30 年度（2018 年度）

地域福祉活動計画（竜王町社会福祉協議会）が作成されます。

○平成 31 年度（2019 年度）

「<sup>\*</sup>地域支え合いしくみづくりモデル事業」におけるモデルからの展開について考えます。

○平成 32 年度（2020 年度）

竜王町総合計画の評価・作成に合わせ、中間評価を行います。

○平成 33 年度（2021 年度）

竜王町地域福祉計画振り返りのための地域福祉に関するアンケート調査を実施します。

○平成 34 年度（2022 年度）

竜王町地域福祉計画の作成及び重点プロジェクトを評価します。

《目標別代表指標》（実績値：平成 30 年 1 月 11 日時点）

### 目標 1 わかりあい わかちあいで人づくり

めざす成果	実績	計画
	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)
ボランティアセンター登録団体数	34 団体	45 団体
<sup>*</sup> 学 校応援団登録数	470 人	570 人
竜王町社会福祉協議会派遣での学習会開催数	5 回	8 回

### 目標 2 であい ふれあいで絆づくり

めざす成果	実績	計画
	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)
地域支え合いしくみづくりモデル事業実施地区の延べ数	2 地区	17 地区
<sup>*</sup> コミュニティカフェ設置数	25 箇所	32 箇所

### 目標 3 支えあい 助けあいで暮らしづくり

めざす成果	実績	計画
	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)
障がい・高齢の合同学習会・会議数	2 回	20 回
災害時要配慮者登録数	164 人	200 人